

高川地区キャッチフレーズ
～高川で“わくわくわく”
湯がわく 和がわく 笑顔わく
TEL 83-1001 FAX 83-0486

高川公民館
KODAMA

こだま

高川地区後継者育成委員会 結婚・出産御祝い金贈呈

12月13日(日)、高川地区後継者育成委員会(愛称…高川いきいき会・恵美須孝一委員長)によるお祝い金の贈呈が行われました。

中本正志さん・明美さんご夫妻(杖野々区)のご結婚と、窪田裕一さん・亜紀さんご夫妻(太郎原区)の長女「朱莉(あかり)ちゃん」の出生をお祝いし、恵美須委員長がそれぞれのご自宅を訪れ、「明るくおめでたい出来事で大変嬉しく思います。ご家庭から高川地区を盛り上げてください。」と、祝福の言葉とお祝い金をお贈りしました。両ご夫妻とも、高川地区に感謝の言葉を述べられました。



中本 明美さん
中本 正志さん

窪田 亜紀さん・朱莉ちゃん
窪田 裕一さん・千紘くん

ご支援ご協力のお願

高川地区の将来を担う後継者を育成するため地区内の人口増加、特に若い人の定住を目的に組織され、結婚、転入、出生に対し祝金を支給する事業を行っています。

祝金は、主に皆さまからのご寄付を財源としております。今後も本事業を長く続けていくために、本事業の目的をご理解いただき、ご寄付によるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(お問い合わせは高川公民館までお願いします。)

「ずっと暮らし続けられる未来」を考えるワークショップ

12月13日(日)、高川地域づくり会(玉川浩幸会長)と愛媛大学による、高川に住み続けていくための課題や地域づくりについて話し合う第2回ワークショップが行われました。

愛媛県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大していたことから、愛媛大学と会場の高川公民館をインタ

ーネットでつなぎ、リモートワークショップという形で行い、今回を最終回としました。

小中高校生8人と大人12人が参加し、まずは前回のワークショップでまとめた「定住を見直すきっかけ(「問題」)を用いた『高川地区版暮らしの人生ゲーム』を行いました。「問題」が起きても高川に住み続けるかを○×で表明。多数派には1点、少数派には3点が与えられ、得点の多い人には景品が贈られました。また、「問題」に対し○×として理由をグループで整理し、高川に住み続けるために残したいことや変えていかないといけないことなどを話し合いました。

昨年につき、世代を超えて高川地区の未来について話し合うことができました。

